

地域の未来予測に関する検討ワーキンググループ

概要

第32次地方制度調査会答申（令和2年6月26日）において、今後、具体的にどのような資源制約が見込まれるのかについて、各市町村がその行政需要や経営資源に関する長期的な変化の見通しの客観的なデータを基に「地域の未来予測」として整理することが考えられる旨が指摘された。これを踏まえ、総務省において、「地域の未来予測に関する検討WG」を開催し、各市町村における実施の際の参考となるよう、国として例示すべき対象分野や指標、推計方法について検討を行う。

検討内容

- ① **「地域の未来予測」のあり方**：「地域の未来予測」のあり方について、その基本的な考え方をはじめ、これを踏まえた地域における「目指す未来像」の議論のあり方等について検討
- ② **分野・指標**：「地域の未来予測」として行政需要や経営資源に係る長期的見通しを作成することが考えられる分野・指標の例について検討
- ③ **推計方法**：指標の例ごとの推計方法の例について、既存の各種推計の手法との関係を含め検討

構成員

学識経験者3名、地方公共団体職員6名の計9名で構成（◎：座長）

【学識経験者3名】

- ◎伊藤 正次 東京都立大学法学部法学科教授
- 倉阪 秀史 千葉大学大学院社会科学研究院教授
- 野澤 千絵 明治大学政治経済学部政治学科教授

【地方公共団体職員6名】

- 石川 教男 千葉県市原市企画部総合計画推進課長
- 五味田 直史 神奈川県秦野市政策部行政経営課長
- 城間 正樹 大阪府総務部副理事
- 田村 泰司 北海道下川町政策推進課長
- 松田 智子 宮城県仙台市まちづくり政策局政策企画部長
- 矢谷 明也 京都府舞鶴市建設部長

開催実績

- 令和2年8月28日 第1回WG
 - ・「地域の未来予測」のあり方について
 - ・分野・指標の例について
 - 令和2年10月28日 第2回WG
 - ・分野・指標の例について
 - ・地図上での分析方法の例について
 - ・「地域の未来予測」の活用・住民対話の事例について
- 地方公共団体に意見照会
- 令和3年1月13日 第3回WG
 - ・これまでの議論・意見照会結果を踏まえた論点整理と対応方針について
 - ・GISの活用方法の例について
 - 令和3年3月4日 第4回WG
 - ・地域の未来予測WGの取りまとめに向けて